

斜里海浜サケ・マス釣りローカル・ルール釣り竿の本数検討総括表

釣り竿本数	項目							合計点
	一般的な理解	ブッコミ釣り人の希望	釣り文化の尊重	類似ルールとのバランス	伝わりやすさ	来訪者の投機的な動機の抑制	可搬性	
①	◎	×	△	○	◎	◎	◎	15
	シンポ40% ウエブ23%	ウエブ3%	ウエブ12% 現地調査0%	6例	印象に残りやすい数		1.9kg	
②	◎	△	△	◎	○	◎	◎	16
	シンポ37% ウエブ19%	ウエブ9%	ウエブ10% 現地調査5%	16例			3.8kg	
③	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	19
	シンポ13% ウエブ23%	ウエブ26%	ウエブ22%、現地調査10%、雑誌2例	4例	印象に残りやすい数		5.7kg	
④	×	△	◎	×	△	○	△	8
	シンポ0% ウエブ5%	ウエブ9%	ウエブ7%、現地調査15%、雑誌1例	0例	語呂の悪い数		7.6kg	
⑤	△	◎	◎	×	◎	△	△	12
	シンポ4%(6本以上4%) ウエブ16%(6本以上6%)	ウエブ25%(6本以上21%)	ウエブ17%(6本以上32%) 現地調査12%(6本以上58%)	0例	印象に残りやすい数		9.5kg	
補足	何本にするのが良いと思うか、アンケートの全員の回答より。 ・シンポジウムn=75人 ・ウエブn=280人	何本にするのが良いと思うか、アンケートのブッコミ釣り人の回答より。 ・ウエブn=69人	実際の釣り竿使用本数をアンケートのブッコミ釣り人の回答、現地調査より。 ・ウエブn=69人 ・現地調査n=608人 ブッコミ釣りの方法を紹介した雑誌、書籍調査より。	釣り竿の本数を規定している海域等との比較。 日本国内の海釣り施設、漁業調整委員会指示による船釣りライセンス、内水面漁業調整規則より。	分かりやすさ、語呂の良さ、印象の残りやすさ。 尾数と合わせるとさらに効果的。	竿を多数使用したい遠方からの来訪者が増え、オーバーキャパシティ状態となっている。	車両乗入抑制や、ヒグマ出没時の撤収の容易性。 ・1セット≒竿600g+リール400g+仕掛200g+竿立700g≒1.9kg ・継続して持ち運ぶ重量の推奨は体重の15%以内	

凡例	評価区分	評価点
◎	当てはまる	3点
○	やや当てはまる	2点
△	やや当てはまらない	1点
×	当てはまらない	0点

斜里海浜サケ・マス釣りローカル・ルール尾数検討総括表

釣獲尾数	項目								合計点
	一般的な理解	釣り人の希望	実際の釣果との差異(サケ)	類似ルールとのバランス	伝わりやすさ	来訪者の投機的な動機の抑制	可搬性	食べる楽しみ	
 ①	◎	△	◎	○	◎	◎	◎	△	19
	シンポ34% ウエブ9%	ウエブ8%(0尾1%)	ウエブ28%(0尾8%)	3kg	印象に残りやすい数		3kg	20食	
 ②	○	△	◎	◎	○	◎	○	○	18
	シンポ24% ウエブ12%	ウエブ11%	ウエブ30%	6kg			6kg	40食	
 ③	◎	○	○	○	◎	○	△	◎	18
	シンポ25% ウエブ23%	ウエブ20%	ウエブ20%	9kg	印象に残りやすい数		9kg	60食	
 ④	×	×	△	△	△	△	×	◎	7
	シンポ0% ウエブ2%	ウエブ2%	ウエブ6%	12kg	語呂の悪い数		12kg	80食	
 ⑤	○	◎	△	○	◎	△	×	◎	15
	シンポ8% ウエブ28%(6尾以上3%)	ウエブ32%(6尾以上3%)	ウエブ8%	15kg	印象に残りやすい数		15kg	100食	
補足	何尾にするのが良いと思うか、アンケートの全員の回答より。 ・シンポジウムn=76人 ・ウエブn=280人	何尾にするのが良いと思うか、アンケートの釣り人の回答より。 ・ウエブn=195人	実際の釣果をアンケートのサケ釣り人の回答より。 ・ウエブn=143人	尾数や重量等を規定している海域等との比較。 ・内水面の例:5kg程度 ・対馬海区:10kg ・JGFA推奨魚種別バググリミットの大型魚:1-3尾程度 ・秋サケ船釣りライセンス:5尾	分かりやすさ、語呂の良さ、印象の残りやすさ。 竿の数と合わせるとさらに効果的。	多数釣ることを求めて遠方からの来訪者が増え、オーバーキャパシティ状態となっている。	車両乗入抑制や、ヒグマ出没時の撤収の容易性。 ・継続して持ち運ぶ重量の推奨は体重の15%以内	食べることを楽しみとしている場合の過不足。 ・1尾≒3kg×可食70%/切身100g≒20食 ・日本人の年間サケ消費量≒3kg	

凡例	評価区分	評価点
◎	当てはまる	3点
○	やや当てはまる	2点
△	やや当てはまらない	1点
×	当てはまらない	0点